

学校名	桑名高等学校
具体的な取組	SSH事業を中心に据えた探究的な活動の推進
取組の概要	全日制、定時制併置校で、普通科、理数科、衛生看護科、衛生看護専攻科を設置しています。文部科学省よりSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業の指定(指定期間5年 2019年度～2023年度)を受けています。SSH事業をとおして、地球規模の社会問題を解決するプロセスを通じて、全ての生徒が、高い志を持ち、様々な課題に対して自ら考え挑戦し、未来を切り拓く力(課題探究能力)を育成するとともに、(地球の未来への先駆者となる)科学技術系のトップ人材の創出をめざす「桑高SGPプログラム」を開発しています。(※SGPは「Solution for Global Problems」の略)
成果	SSH事業の指定を受けて以降、全国規模の各種大会に参加し、優秀な成績を残しています。また、探究に係る指導方法、ポートフォリオによる評価の研究も進めています。

学校名	桑名北高等学校
具体的な取組	内容中心(コンテンツ・ベース)の教育課程から資質・能力中心(コンピテンシー・ベース)の教育課程への転換
取組の概要	「学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究(高等学校)」の事業指定を受け、学力向上と授業改善に取り組んできました。当事業を受け、桑名北高校で育みたい7つの資質・能力と、教科・学年、学習指導要領の3つの柱の関係を明示した「桑北スタンダード～生徒と『共に創る』学習活動のための手引き」を作成しました。「桑北スタンダード」は、カリキュラム・マネジメントのモデルを具体的に示したものとなっています。
成果	「桑北スタンダード」は、カリキュラム・マネジメントの好事例として県内高等学校の先進的な事例として取り上げられています。その取組が評価され、令和2年度、文部科学省「高校生のための学びの基礎診断」に関する有識者会議で事例発表を行っています。

学校名	四日市高等学校
具体的な取組	新たな社会の地平を切り拓くリーダーとしての資質の育成
取組の概要	平成26年度から5年間続いた文科省指定のスーパーグローバルハイスクール(SGH)事業が終了し、その成果を継承しながら、平成30年度から新たにスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されています。グローバルリーダーの育成をはかるとともに、新たな価値を創造する国際科学技術人材を育成するため、大学や企業と連携して、探究活動を重視した授業や海外研修などの教育活動を展開しています。
成果	難関大学や医学部への進学者数は県内トップレベルです。令和2年度は科学の甲子園(全国大会)で5位入賞をはじめ、多くの生徒が自然科学系各種大会で入賞を果たしています。授業改善にも積極的で、ICTを活用した授業モデルの研究など、本県における大学進学を希望する生徒の指導について、県内高等学校を牽引しています。

学校名	川越高等学校
具体的な取組	先進的な英語教育の実施
取組の概要	英語4技能をバランスよく獲得することを目的とした特色ある授業やICTを活用した新たな取組等、国際的な視野と自主的創造的な精神を身につけた「自立した学習者」を育成し、地域から信頼される進学校としての役割を果たしています。特に、国際文理科では、英語力だけでなく、広く国際舞台で活躍できる資質・能力を育成しています。また、語学力を鍛えながら異文化を体験する「海外スタディツアー」を実施しています。(令和元年度までの行き先:シンガポール)
成果	「自分の意見や考えを英語で話したり書いたりすることができ、将来、実際のコミュニケーションの場面で英語が活用できる」と考えている生徒の割合が、7割を超えています。

学校名	桑名工業高等学校
具体的な取組	「日本版(桑名版)デュアルシステム」や「インターンシップ」を有効に活用した、人間性豊かな専門的職業人の育成
取組の概要	桑名方式といわれる商工会議所と連携したインターンシップ、デュアルシステムを実施しています。昨年度から国の教育課程研究指定校事業を受け、デュアルシステムと関連づけた、企業における事例を取り上げた指導書や教材を作成することで、「工業管理技術」の効果的な指導方法や評価手法の確立をめざしています。
成果	地域と学校の連携・協力により、「ものづくり」の技術・技能を身につけた人間性豊かな職業人を育成することのできる、地域に根ざした専門高校として、多くの企業の協力を得て、日本版デュアルシステムとインターンシップを実施し、生徒の職業観・勤労観を育成しています。

学校名	四日市南高等学校
具体的な取組	地域社会と進める探究学習プログラムの確立
取組の概要	研究テーマを「未来の四日市を考えるー公共交通の視点からー」とし、四日市の交通と街づくりを考える会(YTT)と連携し、街づくりについての基本的な知識を、歴史・文化・交通の観点から講義形式で学ぶとともに、グラフやデータの読み取りを実社会と関連させて学ぶ(RESAS(地域経済分析システム)を活用)など、未来の四日市を創ることに取り組みました。
成果	生徒が地域に関する知見を深めることができました。また、探究的な学びを進めていくうえでの持続的な手法を確立することができました。

学校名	四日市工業高等学校
具体的な取組	スマートシティ四日市の実現に向けた「MIEものづくりSpirit」育成プログラムの構築
取組の概要	本科3年間で専攻科2年間の5年間で、地域の産業界等と協働し、「スマートシティ四日市」を実現するために必要となる先進的で高度な知識・技術を身に付け、ものづくりをとおして地域の課題を解決できる技術者の育成を目指した「MIEものづくりSpirit」育成プログラムを開発しました。『MIEものづくりSpirit』の育成に向けた教科横断的なカリキュラムを開発するとともに、地域の課題を地域との協働によって解決する「課題研究」及び「修了研究」を実践しました。
成果	先進的で高度な知識及び技術を習得する力、仲間とともに地域に貢献する「精神(こころ)」、課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を育むとともに、地域の課題を自らの課題としてとらえ、自己の在り方・生き方を主体的に考えながら、地域と協働し解決していける探究的な活動を実施することができました。

学校名	神戸高等学校
具体的な取組	探究的な学びの推進
取組の概要	理数科が実施している課題研究において、企業や大学との連携のもと、探究学習を行い、生徒の課題解決能力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上を目指しています。また、「スーパーサイエンスデー」を実施し、自然科学に関する見識を深めるとともに、成果を発表する場を作り高いレベルの理数教育を実施しています。普通科では、鈴鹿市役所と連携して地域の振興策等を探究する活動である「鈴鹿学」を実施しています。
成果	理数科で培ってきたこれまでの成果と、普通科が実施する「鈴鹿学」での成果を踏まえ、探究的な活動に係る指導方法、評価手法等の開発を進めています。

学校名	稲生高等学校
具体的な取組	特色ある普通科教育の実践
取組の概要	県内で唯一の体育科を設置し、充実した体育施設の環境のもと、実技や実習を中心とした特色ある授業を行い、アスリートの養成やスポーツ指導者の育成に取り組んでいます。また、普通科においては、「自動車工業」、「介護福祉」、「食物調理」、「アドバンス」、「ビジネス」、「情報」の6つの幅広いコースを設定し、生徒一人ひとりの希望に合わせた教育活動を行っています。
成果	体育科、普通科の特色あるコースなど、生徒の興味・関心に応じた教育内容を提供しています。

学校名	飯野高等学校
具体的な取組	日本語指導が必要な外国人生徒への支援
取組の概要	日本語指導が必要な外国人生徒が、将来、社会的自立を果たし、社会の一員として活躍できるよう、学校・家庭・地域が一体となった支援体制づくりを進めるとともに、外国人生徒支援専門員を活用し、高校における学習指導等の充実を図っています。また、令和3年度から、日本語指導が必要な外国人生徒を対象に、日本語能力育成をめざす「日本語学習クラブ」を開始しています。
成果	日本語指導が必要な外国人生徒を対象とした、日本語指導教育が進んでいます。また、多文化共生教育にも力を入れています。

学校名	津高等学校
具体的な取組	地域から世界へはばたく「高い知性と教養を持ったリーダー」の育成
取組の概要	全校体制で推進するSSH事業により、生徒一人ひとりに「探究心」を醸成し、「創造性」「協働性」「課題解決能力」を育み、国際社会で活躍できる人材を育成しています。近畿・北陸のSSH長期指定校で構成する「SSH8校連絡会議」で先進的な取組の情報交換を実施するとともに、県内の高校生や小中学生で、自然科学分野に対し深い興味・関心を持つ児童・生徒を集めて発表会等を実施しています。
成果	県内SSH校で、指定期間が最も長く、「探究コンソーシアム」や「SSH8校連絡会議」などの取組により、県内の理数教育を牽引する中核的拠点校としての役割を担っています。

学校名	津西高等学校
具体的な取組	高い志と広い視野を持ち、社会をリードする人材の育成
取組の概要	高い志と広い視野を持った生徒を育成するため、大学、地域等と連携して、「地域をテーマとした課題研究」、「津西SPP(サイエンスパートナーシッププログラム)」、「津西グローバルチャレンジプロジェクト」などの取組を進めており、これらの取組により、社会をリードする人材の育成を目指しています。
成果	SSH校ではない、普通科高校における探究活動の指導モデルを構築しています。

学校名	松阪高等学校
具体的な取組	「国際舞台で通用する課題探究能力育成プログラム」の開発
取組の概要	SSH事業第3期を迎え、国際舞台で通用する科学技術人材の育成をめざして、「松高力(課題解決能力(問題発見・解決能力))、情報活用能力、コミュニケーション能力(言語能力)、挑戦する力等」を中心に据えたカリキュラム・マネジメントに取り組んでいます。
成果	全校体制の課題研究に係る指導方法、評価手法を確立し、県内における探究的な活動のモデルを構築し、指導書「松高SSH指導の手引き」としてまとめ、県内高等学校に配付しました。平成28年度と比べ、自然科学系の発表会やコンテストへの参加者数が約3倍以上となっています。

学校名	相可高等学校
具体的な取組	STEAM教育の推進
取組の概要	普通科、専門学科(生産経済科、環境創造科、食物調理科)併置校として、各学科がそれぞれあるいは相互に連携を図りながら、特色ある取組をグローバルな視点を持って行い、地域の活性化に貢献しています。令和2年度はバイオマス発電所から排出される消化液を肥料として利活用し、地域でバイオマス栽培による循環型農業を普及させるための栽培技術を確立させる研究に取り組むなど、STEAM教育に取り組みました。
成果	各学科の専門性の追究に加え、教科横断的な視点で事象を捉え、「何のために学ぶのか」という視点を持ちながら学校での学習と実社会との関連を体感するとともに、自己の身の回りの課題を自分事として捉え、解決方法について考えることができるようになっています。

学校名	飯南高等学校
具体的な取組	いいなんゼミ ～自分らしくたくましく「生きる力」を育成する～
取組の概要	地域が抱えている諸課題の解決や持続可能な社会の実現に向けて、地域を学び場として学校の魅力向上を図っています。 1年生の「産業社会と人間」において、フィールドワークを実施して地域の魅力を深掘りし、2年生の「キャリアデザイン」では、仕事や暮らしを知るために地元企業への体験活動を行っています。3年生の「いいなんゼミ」では、集大成として生徒が主体的に取り組んできた探究活動について発表を行っています。 また、美術部の「抹茶ラテアート」、応援団サークルによる「木の手帳」の作成、「空き家プロジェクト」の取組など、課外活動においても地域と協働した活動に取り組んでいます。
成果	地域での学びを大学に進学して深めようとする生徒が出てきており、また、就職においては、飯南地域の求人が増えただけでなく、松阪市や県内企業での評価も高くなってきています。

学校名	昴学園高等学校
具体的な取組	地域と連携した学びの体制
取組の概要	1年生の「産業社会と人間」において、地域の工場見学、地域の大人へのインタビュー、地域防災の体験等を通じた地域の魅力や課題の発見により、2年次以降の総合学科の各系列における地域と連携した学びにつなげています。 大台町の活性化を提言する国際交流系列での「まちかつ」の取組、生活福祉系列での町内施設での介護実習や独居老人との交流のほか、環境技術系列、美術工芸系列、スポーツ系列においても地元小学校への出前講座を実施するなど、すべての系列で地域と連携した取組を継続的に行っています。
成果	学校内だけの学習ではなく、地域と連携した学習活動を3年間通じて行うことで、生徒のコミュニケーション力や思考力を育成するとともに、大台町外からの生徒が大台町に就職する事例がでてきています。

学校名	伊勢高等学校
具体的な取組	SSH事業を中心に据えた課題探究能力の育成
取組の概要	SSH事業を中心に据え、生徒全員で取り組む課題研究と国際舞台で活躍できる人材育成のためのカリキュラムを構築しています。南部地域の理数教育の中核的拠点校として、小中学校、大学、地域の研究機関と連携して取り組んでいます。
成果	これまでの三重県高等学校科学オリンピックには毎年(全10回)入賞しており、第3回では全国大会優勝も果たしています。日本学生科学賞での入選など、全国レベルで活躍する生徒を多く輩出しています。

学校名	宇治山田商業高等学校
具体的な取組	Society5.0の時代を生き抜く人材の育成
取組の概要	これからの時代に必要となる創造的に課題を発見し解決する力を育むため、経済産業省「未来の教室実証事業」、国事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」、県事業「学びのSTEAM化推進事業」等により、地域と連携しながら、教科横断的な課題解決型の学びに取り組んでいます。
成果	本県における「学びのSTEAM化加速プラン」を牽引しています。資質・能力を育む教育活動の好事例となっています。

学校名	水産高等学校
具体的な取組	無限の可能性を秘めた海から学び、スペシャリストを育成する専門教育の展開
取組の概要	県内唯一の水産に関する学科設置校として、実習船「しろどり」をはじめとした特徴的な施設・設備を活用した専門教育を実施しており、海洋・機関科と水産資源科の学科間連携を強化して、生徒の主体性を引き出す探究活動につなげています。具体的には、水中ドローンの研究開発、海洋プラスチックの海洋調査、ガンガゼ駆除活動、マグロの廃棄部位を活用した新商品の開発、黒アワビの完全養殖に向けた取組等、地域と連携した取組を進めています。
成果	海技士やボイラー技士など複数の資格を取得することもあり、数多くの求人のもと、高い就職率を維持しています。令和2年度は20以上の資格を取得し、全国の水産高等学校の中で1位を獲得した生徒もいました。また、専攻科(2年間)を設置し、より高度な資格取得と水産業界関係への就職を実現しています。

学校名	あけぼの学園高等学校
具体的な取組	多様な選択科目と4つの系列からなる、地域と連携した学びの実践
取組の概要	進路や興味などに応じて選択できる多種多様な科目を開発しています。「製菓調理」「美容服飾」「健康福祉」「情報教養」の4つの系列を設けていますが、系列を越えた科目選択も可能です。地域との連携や地域行事等への参加を積極的に行い、1年生は全員が地域の企業等へのフィールドワークや伊賀組紐の体験等地域との交流を行う中で、生徒一人ひとりに「自信と誇り」が培われることをめざしています。
成果	校内に「模擬美容室」を開発して地域の人たちを招いたり、地元中学への出前授業などを実施したりするほか、地元企業と連携して開発した商品の販売にも取り組んでいます。

学校名	名張青峰高等学校
具体的な取組	生徒一人1台タブレットPC等を活用した教育の展開
取組の概要	伝統あるグローバル教育と充実したICT環境を基に、知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度を育成するための授業改善を推進しています。特に、充実したICT機器を活用し、情報利活用教育や効果的・主体的・協働的な学びを展開しています。
成果	ICTを活用した学びに係る実践事例を発信し、他校の参考事例となっています。また、各教科・科目の事例は全国でも多く発表されています。

私立学校の特色化・魅力化を図る取組(平成31年度以降)

学校名	津田学園高等学校
具体的な取組	未来を見据えた教育の実践
取組の概要	<p>①生徒のニーズに対応したコース(3コース制)の整備</p> <p>②時代に応じた特色ある教育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング型授業を活用した授業改善を実施 ・全教室固定式電子黒板がすでに導入をしており活用している。さらに、今年度入学生からchromebookを導入し、最先端のICT機器を活用した双方向型授業を実践している。 ・語学力やコミュニケーション力を習得し、世界で活躍できるグローバル人材の育成 ・心の柱を育てる道德教育の実施 <p>③探究活動の推進</p> <p>④授業改善研修による授業力の向上</p> <p>⑤部活動の推進</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・四年制大学への進学率が年々上昇している ・部活動への参加率も85%を超え、競技成績も上がってきた

学校名	暁高等学校
具体的な取組	総合探究 地域企業連携授業 ・環境問題について課題発見するプレゼン
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題発見と地域に貢献できることは何か 三重県内の企業の代表者の方に来校していただき、会社の業務内容をはじめ地域の抱える課題を企業としてどの解決していくか、そして職業に対する姿勢や企業経営者として、社会人として心がけていることを話していただく機会を作っている。 ・SDGs持続可能な世界について主体的に取り組む 3年生の理系の授業で、課題発見・課題解決に取り組む探究活動やタブレットを用いた教育方法の試みに取り組んでいる。生物の授業では、生物から生命、生命を宿す自然環境に目を向け、持続可能な環境問題について、生徒の主体的な取り組みを育てる〈生徒プレゼンテーション〉を行っている。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が企業が抱える課題に気づき、社会で必要な力をひとり一人が主体的に考え、自らの興味・関心をもとに活動していく力を身に着けることができた。 ・生徒自ら主体的にできることについて発表し、評価し合うことで、物事を自ら解決できる力を身に着けることができた。

学校名	四日市メリノール学院高等学校
具体的な取組	国際理解教育(フィリピン研修)、地域と連携した教育(クラブ、環境、防災)
取組の概要	普通科は台湾研修により現地の高校生・大学生と交流。英語科(ICC)は2年次に約一ヶ月のフィリピン研修を計画しています。マンツーマンによる英語研修やSDGsの学びを現地で深めるフィールドワークもプログラムに入っています。(令和2・3年度は、コロナのため国内で研修を実施。)地域とつながり貢献できる学校を目指し、様々な分野で地域の団体や人とつながる活動を目指しています。グラウンドは女子社会人ラグビーチームのパーلزも練習場として利用し、本校の生徒も練習に参加することもあります。また、環境分野では学校敷地のすぐ隣にある、国の天然記念物に指定されている、御池沼沢を四日市と提携を結び保全及び調査をしています。
成果	海外及び国内での異文化体験や同世代の若者との交流をすることで相互理解を深め又、自国にも関心を持つきっかけとなっている。地域とつながることで多様な年齢、職業の人とかわりができ、学内では難しい人間的な成長の機会となっている。

学校名	海星高等学校
具体的な取組	コースごとにきめ細かな特性を出し、地域社会・国際社会でのリーダーの育成、異文化理解と国際教育を促進する
取組の概要	コース共通として、英語コミュニケーション能力の向上のためのプログラム、Global交流会in English(近隣大学の海外留学生との交流)他 特別教育・イタリア現地研修(創立者の教育に対する理解促進と異文化理解)、Global Science Program(地球環境塾をもとに課題研究) 国際数理コース・Global Science Studies(「世界一大きな授業」、課題探求、高大連携)、Global Workshop(SDGsを学習する上での動機づけ) 進学特別コース・スモールスタート(探求ならびにプレゼン力を身につけるQuestEducationプログラムの一つを体験) 進学コース・ソーシャルチェンジ(地域社会の困った人に助けて笑顔にするプログラム)、OB座談会・企業見学
成果	コロナ禍で行えていないプログラムもあるが、生徒たちは確実に取り組んでもらえている。

学校名	鈴鹿高等学校
具体的な取組	R2年度よりコース変更。卒業後、社会で活躍できる人材の育成
取組の概要	● 総合コース・進路希望の多い、幼児教育系、看護・医療系のクラスを2年次より設置。週2～3時間、専門科目を学習。ピアノルームも新設。 ● 探究コース・「論理コミュニケーション」と「探究活動」の2本柱。自分の意見を論理的に表現する力を「論理コミュニケーション」で身につける。「課題発見」→「課題解決」のプロセスを「探究活動」を通して身につける。 ● 特進コース・3つのコンセプト。「知恵を絞る」「他者との共働・共生」「大変・失敗の経験」。受け身ではなく、積極的に挑戦を続けて、体と心に残る教育活動を展開。学校設定科目「データサイエンス」も特徴的な取り組み。
成果	新しい教育を始めて今年で2年目で、3コース共通の柱は「社会で活躍できる人材育成」です。プログラムを経るごとに、生徒たちは要領を掴み、作成する資料や内容も充実してきました。教育成果を感じることができます。

学校名	高田高等学校
具体的な取組	仏教による情操教育・世界に羽ばたく人材を目指したキャリア教育と英語教育
取組の概要	・仏教の授業を始めとして、仏教講話・人権学習、あるいは日々のホームルーム活動などあらゆる場面を通して他者を思いやり、慈しむ心を育てる教育を実践している。 ・キャリア教育の推進を図るため、進路指導部と学年が連携し高大連携講座や種々のキャリアガイダンスを数多く実施するとともに、幅広い最新の情報を生かした綿密な懇談を繰り返しおこない、生徒一人ひとりの進路実現に向けて親身な進路指導を展開している。 ・英語教育の充実を目指して、6人のNative English Speakerによる「コミュニケーション」指導やスタディサプリ・イングリッシュを導入し、リスニング力・スピーキング力の強化を目指している。また、オーストラリア交換留学プログラム・イギリス語学研修など、国際交流活動も積極的に推進している。 ・こういった取り組みを円滑に進めるため、Classi、Google Workspace for Educationを導入し、ICT教育の充実に努めている。 ・英語教育の充実を目指して、6人のNative English Speakerによる「コミュニケーション」指導やスタディサプリ・イングリッシュを導入し、リスニング力・スピーキング力の強化を目指している。また、オーストラリア交換留学プログラム・イギリス語学研修など、国際交流活動も積極的に推進している。 ・こういった取り組みを円滑に進めるため、Classi、Google Workspace for Educationを導入し、ICT教育の充実に努めている。
成果	生徒達に培われた豊かな人間性は、このコロナ禍においても他者を思い遣る心を忘れず日々を平穏に過ごしている。また、将来の夢を語る時や懇談において、人の為になる職に就きたいと述べる生徒が増えている。英語に興味・関心を持つ生徒が増え、スキット・コンテスト等の活動に意欲的に取り組むとともに、英語検定等の合格率も増加の傾向にある。

学校名	セントヨゼフ女子学園高等学校
具体的な取組	ICT教育の推進、国際教育推進、キャリア教育推進、女子教育推進、他校に少ない部活の活躍。
取組の概要	ipadを全員に配布して各授業で利用(Classi/ロイノート等)、図書室の機能充実(机・椅子の対面式配置、生徒使用ipadに図書情報Web検索システム導入)、英検・GTECの全員受検、オンラインによる洋書の多読、三重グローバル大使として三重の国際行事に参加、海外研修(台湾・ニュージーランド・カナダ・アメリカ・フィリピン)、ウォーカーソン(全校での奉仕活動)、ユネスコスクール加盟校としての取り組み(国際教育・環境教育・防災教育)、SDGsをテーマとした文化祭(ヨゼフ祭)、模擬国連・国際フォーラム・スピーチコンテスト・数学オリンピック・作文コンクールなどへの参加、卒業生など女性企業人の講演会、「女性の健康教育講座」、体育の授業に「空手」を導入、ハンドベル・箏・ギターマンドリン・奉仕部(Y.M.G.)、ウイングス オブ フレンドシップ、ぶどうの会)各部の活動。
成果	ICT教育の推進に伴って、継続する中で培われてきたノウハウが蓄積されてきた。教員も生徒も便利なツールを活かすことで、使用していた紙の量がずいぶん減った。国際教育の推進により生徒の意識も高く、英語を使つてのフォーラムなどに果敢に挑戦するようになった。先輩から後輩につないでいこうとするシスターシップの構築。

学校名	三重高等学校
具体的な取組	生徒のニーズに対応し、2コース4類型ごとに特色ある教育活動を展開する。
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・特進コースは、経験豊富なスタッフによる7限授業、卒業生による進学講演会、長期休暇中の課外補習等を実施し、国公立大30名以上の合格を目指す。 ・進学コース選抜クラスは、国公立大、難関私大への進学を見据え、部活動との両立に励む生徒をスタッフ全員がサポートする。 ・進学コース進学クラスは、大学や専門学校への進学から就職に至るまで幅広い進路希望に対応しきめ細やかな授業を展開する。 ・進学コースアスリートクラスは、強化クラブに所属し、学業・部活動の両面で高い目的意識を持った生徒で構成し、一流のアスリートを育成する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・特進、進学コースの過去3年間の国公立大合格者数は、それぞれ延べ77人、17人 ・本年度県高校総合体育大会では、団体で男子が4、女子が3種目で優勝するなど、総合成績で1位、2位

学校名	皇學館高等学校
具体的な取組	主体的・対話的で深い学び、ICT機器の活用、グローバル教育
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションやプレゼンテーションなどを通して、能動的に授業に参加し、主体的に協働して考え、判断し、表現する力を身につける。 ・電子黒板やプロジェクター、タブレット端末などの、授業支援システムを活用し、主体的な学びを効果的に進めるために役立つツールを授業に導入。 ・オーストラリアの姉妹校ローズヒル校との国際交流をはじめ、ニュージーランドへの語学研修、また、GTECなどへの取り組みを通して語学力、異文化理解力、コミュニケーション力を養う。
成果	主体的・対話的で深い学びの実践や、ICT機器を活用することにより、生徒が自ら考え、工夫して学ぶ力を身につけ、思考力・表現力を磨き、新たな課題・問題を発見し、それを解決する力を養うことができた。

学校名	伊勢学園高等学校
具体的な取組	
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の推進において、全クラス(21教室)と特別教室にプロジェクター型電子黒板を設置し、デジタル教材を用いた授業の展開。 ・本校独自の設定科目である『教養』の授業の中で、令和3年度より新たに『手話講習』を取り入れ、全校生徒が履修。手話検定の取得や各種大会への参加。 ・クラブ活動の活性化に向け、令和3年度より同好会として『eスポーツ』を設置し、全国大会出場に向けて活動を開始。 <p>以上のように、幅広く生徒の個性を伸ばす教育に取り組んでいる。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味深く授業に取り組んでいる。 ・クラブ加入率が向上し、新しいものに挑戦しようとする姿勢が見られる。

学校名	桜丘高等学校
具体的な取組	「知性」と「自立」を教育の基本原理として、「自主的に学び、探究し、最後までやり抜く姿勢」を育みます
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○「知的創造プログラム」 グループワークでコミュニケーション力を高め、テーマ課題について 調査研究し、グローバル視点で思考する創造性を育てます。 ○「ハークネステーブル」 生徒一人ひとりがテーマ課題について深く考え、論理的にまとめて 発表します。生徒は自分と異なる意見を聞き、理解してから自分の考えを広げていきます。 ○「企画運営プロジェクト」 文化祭などの行事を通じた「企画運営プロジェクト」の活動で リーダーとしての素質を学びつつ、社会人としての必要な「企画力・運営力・行動力」を培います。
成果	このような取り組みを進めることにより、各教科の取り組みにおいても主体的・対話的・深い学びが推進され、生徒にグローバル視点にたった論理的思考力・コミュニケーション力が身につきます。